

英語科学習指導案

日時：平成29年6月14日（水）第1校時

学級：第2学年2組 33名

場所：2-2教室

指導教員：[REDACTED]

授業者：[REDACTED]

1. 教材：New Horizon English Course 2, Talk and Talk
2. 単元名：Unit 3 Career Day
3. 内容項目（生徒観、教材観、指導観）

(1) 生徒観

英語に対する苦手意識を持つ生徒が多いが、毎回の授業でする帯活動（Practice Sheet, Support Reading, Chunk Reading など）には全体が意欲的に取り組むことができている。英語の質問には1、2単語で解答ができる。しかし、英作文においては、文法を理解し、英文を自力で作文できる生徒が少なく、支援を必要とする生徒が少なくない。班やペアでの話し合いの後は積極的な発言も多く、理解度が高まり、クラス全体が前向きな姿勢で授業に向き合うことができる。

(2) 教材観

本単元では多くの学校で行われる職場体験を主題とし、生徒にこれからのことを考えさせる契機とし、将来のことや自分の行う行動について具体的に英語で話せるようにしたい。だから、将来のことを語るうえで欠かせない want to 動詞の原形など、不定詞の3つの用法（目的を表す副詞的用法、名詞的用法、形容詞的用法）を理解させ、定着させたい。

(3) 指導観

本単元では、不定詞の3つの用法がまとめて出てくるが、1つずつの用法を確実に定着させたい。特に言語活動では want to 動詞の原形を使用して、将来の夢について述べさせる活動や、Talk and Talk などの補助教材を使い、それぞれの用法を使い分けられるようにしたい。また、日常に関係のある例文などを使い、生徒が想像しやすくするなどの工夫をする。グループやペアでの活動を多用し、生徒同士で理解を自主的に深め、コミュニケーション能力とともに英語能力を育ませたい。

4. 単元目標

- ・何かをする目的を述べることができる。
- ・夢や希望などについて述べることができる。
- ・情報をつけたして説明することができる。
- ・自分のしたいことや行きたい場所などについて、たずねたり伝えたりすることができる。

5. 単元の評価基準

コミュニケーションへの関 心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
・ペア活動やグループ活動に、積極的に参加している。	・ある行動について、その目的を述べることができる。 ・将来の夢や希望などについて述べることができる。	・本文を読んで、その内容を理解できる。 ・行動の目的や、インタビューの内容を聞き取ることができる。	・不定詞の3つの用法の意味、形・用法に関する知識を身に付けている。

6. 指導の計画

小単元	授業時間数
Part1 不定詞（副詞的用法）	3時間
Part2 不定詞（名詞的用法）	3時間
Part3 不定詞（形容詞的用法）	3時間
Part4 Read and Think	1時間
Part5 Activity(発展)	1時間
Daily Scene3（メール）	1時間
まとめと練習（不定詞）	1時間

Part1 の指導目標と指導内容の内訳

時数	指導目標	指導内容
1(本時)	・不定詞の目的を表す副詞的用法の形・意味・用法に関する知識を身に付ける。	・不定詞を使った文の作り方。
2	・不定詞を使い、行動の目的を述べることができる。	・不定詞を使つての会話。
3	・不定詞のある文から、行動の目的を読み取ること、聞き取ることができる。	・教科書の本文。 ・教科書にある Listening と Writing。

7. 本時の目標

本時は「行動の目的を述べる」不定詞の副詞的用法の導入である。不定詞の3つの用法の1番最初であるので、身近な行動を取り上げることで、その行動と行動の目的を表すことができる能力を身につけ、文法や意味を確実に定着させる。

8. 本時の評価基準

- グループでの話し合いや、活動に参加している。〔関心・意欲・態度〕
- 不定詞の文の形、意味、用法を理解し、使用することができている。〔知識・理解〕

9. 本時の展開

	学習活動	教師の指導・支援	留意点・評価
導入 10分	<p>1. 帯活動 ・ Chunk Reading</p> <p>2. 「Youは何しに日本へ」に出演した外国人を取り上げ、PPで紹介する。</p>	<p>・ 日本に“来る”という動作をなぜしたのか考える。 T: Why did he come to Japan? S1: "Sightseeng" S2: "Trip"</p>	<p>発言すればポイントが付く English Sheet を生徒に予め配布しておく。</p> <p>・ S1 は全て既習の単語であるから、可能ならば、英語で言わせる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">(例 1) He came to Japan to see his friends.</div>			
展開 15分	<p>3. 例2について考える</p>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">(例 2) I go to school</div>			
<p>(例 2)の行動の目的について近くの生徒同士で話し合い、考える。</p> <p>・ 板書をノートに書かせる。</p>		<p>T: Why do you go to school? S4: 「友達と話すため」 S5: 「部活するため」 S6: 「勉強するため」など</p> <p>・ to 動詞の原形のルールを生徒同士で話し合わせて気づかせる。</p>	<p>○生徒の答えを“to ~(動詞の原形)”に言い変える。</p> <p>・ 紙に書いて黒板に貼る。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">I / go to / school / <u>to practice</u> soccer.</p> <p>(誰何が) / (どうする) / (どこ) / (なぜ)</p> <p>不定詞の副詞的用法は「to 動詞の原形」で(どうする)にあたる動詞を修飾し、その動作の目的を述べることができる。</p> </div>			
	<p>4. 練習問題を1問与える。</p> <p>私はたくさんの物を観るためにイギリスを訪れます。 I visit the U.K. to see many things.</p>	<p>T: "How do you say イギリス in English?" S: "The U.K." T: "How do you say 訪れます in English?" S: "Visit" T: "How do you say たくさんの物 in English?" S: "Many things" T: "How do you say 観る in</p>	<p>フリップを用意しておき進行をスムーズにする。</p>

<p>活動 20分</p>	<p>5. Activity</p> <p>ある1つの英文を to より前の上の句、後ろの下の句にわけたカードを用意する。上の句と下の句を組み合わせて、1つの英文を作る。作った英文を画用紙に一人につき2つ書く。最後に各グループの画用紙をシャッフルし、他のグループの作った英文を答え合わせする。ただし、組み合わせのパターンは各ペア1つとは限らない。</p> <p>*英文の答えは他グループの答えをチェックする時に配布する。</p>	<p>English?"</p> <p>S: "to see"</p> <p>・生徒の前で、実際に生徒が使うカードを拡大したものを用意し、実演する。</p> <p>・机間巡視をしながら、生徒の質問などに答える。</p> <p>・英語で話しかけながら、生徒とのコミュニケーションをとる。</p>	<p>*画用紙とペンを用意しておく。</p> <p>◎評価：班での話し合い [関心・意欲・態度]</p> <p>◎評価：[知識・理解]</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>6. 本時の振り返りを行う。</p>	<p>・5で各グループの画用紙に書いた英文(2文)を各自のノートに書き写す。</p> <p>[宿題]</p> <p>・プリントなどの回収。</p>	

10. 板書計画

<p>Goal 行動の目的を述べよう！</p> <p>I go to school</p> <p><u>Purpose</u></p> <p>↓</p> <p>To talk with my friends.</p> <p>To study.</p> <p>To practice soccer.</p> <p>To have school lunch.</p>	<p>☆I go to school [<u>to practice</u>] soccer.</p> <p>～するために</p> <p>私は[サッカーの練習するために]学校へ行きます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>○不定詞の副詞的用法</p> <p>〈 to + (動詞の原形) = ～するために 〉</p> </div> <p>Ex) 私は たくさんのものを 観るために イギリスを訪れる</p> <p>I visit the U.K. to see many things.</p>
--	---